

定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter

蓄熱材タイプ 20℃ TypeA

Cat. No. TCT-A20

2020年9月29日作成

www.cosmobio.co.jp

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。

【I】製品仕様

- ・輸送用発泡スチロール箱 TypeA
サンプルスペース：50 mL チューブ×2本分
培地ボトルスペース：250 mL×2本分または 125 mL×4本分
- ・蓄熱材 20℃用 F-20 (480 g × 4個)
- ・外装バック (外寸：395 x 310 x 250 mm)

【II】蓄熱材の予熱・予冷

本製品に使用しております蓄熱材 F-20 は、事前に予熱または予冷が必要です。次の条件で必ず2日間以上、予熱、予冷を行ってください。

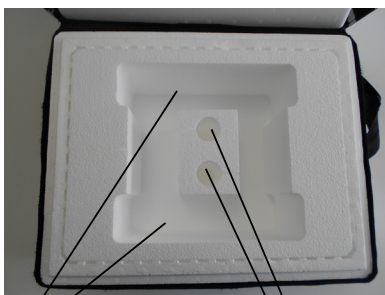
- ・輸送時の平均外気が 20℃以下の場合：23～30℃で予熱 (透明ゼリー状で使用)
- ・輸送時の平均外気が 20℃以上の場合：10～17℃で予冷 (白色固化した状態で使用)

※密着して積み重ねると内部の予熱・予冷が不十分になります。蓄熱材間に隙間をつくるなどして、内部まで熱が十分伝わるようにしてください。

【III】梱包方法

- (1) 蓄熱材 F-20 (480 g × 4個) を予熱または予冷します。
- (2) 輸送用発泡スチロール箱内の両壁にそって 480 g の蓄熱材を各2個セットします (図2)。
- (3) サンプルチューブ、培地ボトルなどを入れます。必要に応じてエアクッション、ガーゼ等の緩衝材で隙間を埋め、ボトルなどを固定して下さい。(図3)。

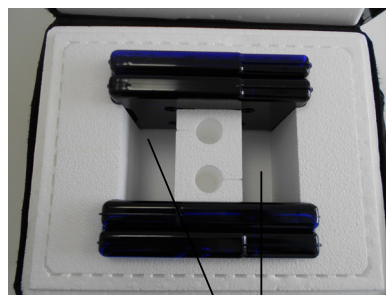
図1



蓄熱材スペース

サンプルスペース

図2



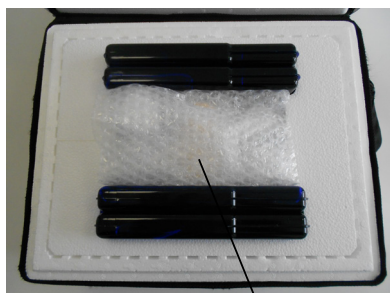
ボトルスペース

図3



- (4) サンプル上部をエアクッション、ガーゼなどの緩衝材で隙間を埋めます (図4)。
 ただし、過剰な緩衝材はふたの密閉を妨げるため、ご注意ください。
- (5) 外装バックのふたをマジックテープでしっかり固定します (図5、図6)。
- (6) 密閉後の輸送容器は常温にて輸送可能です。

図4



緩衝材

図5



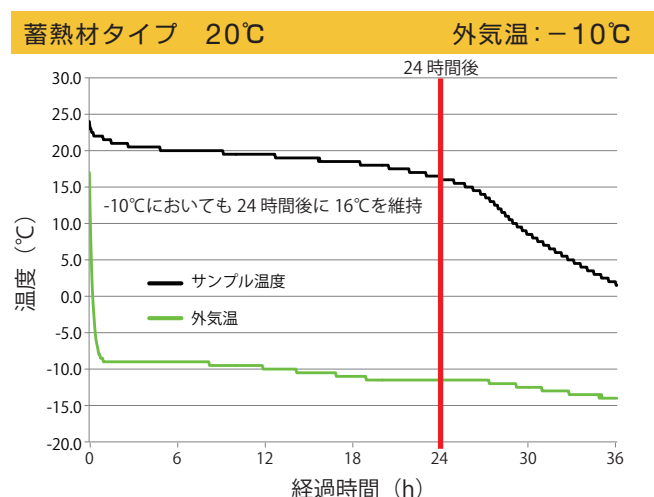
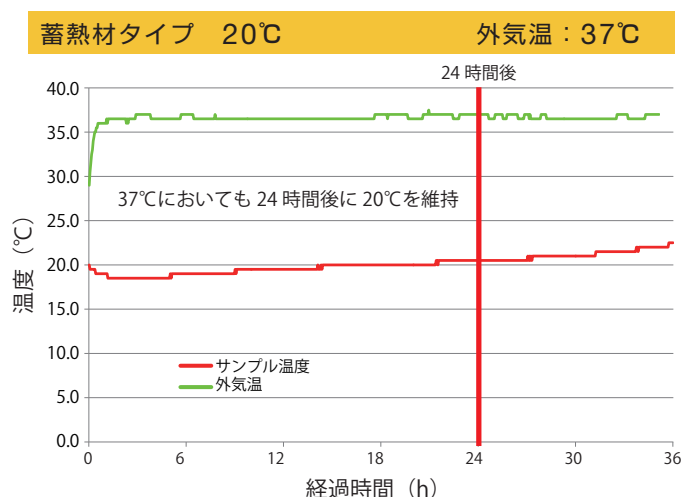
図6



【IV】 その他

1. 輸送用発泡スチロール箱および蓋は消耗品です。使用に伴い、蓋の密閉度が劣化した場合は、新しい箱に交換が必要です。交換用品の購入に関しては弊社営業部にお問い合わせください。
2. 猛暑時期、極寒時期、または、設定温度と著しく異なる環境 (車内など) に放置した場合は、温度精度が落ちます。外気温や輸送中の置き場所などにはご注意ください。
3. バッテリータイプの定温輸送容器 Thermostable Cell Transporter バッテリータイプ 5℃ / 20℃ / 32℃ もございます。

【V】 蓄熱材タイプ 20℃ 温度データ例



12401


コスモ・バイオ株式会社
 COSMO BIO CO., LTD.

 〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル
 URL : <http://www.cosmobio.co.jp/>

 ● 営業部 (お問い合わせ)
 TEL : (03) 5632-9610 FAX : (03) 5632-9619
 TEL : (03) 5632-9620

 ● 札幌事業部 (技術的なお問い合わせ)
 TEL : (0134) 61-2301 FAX : (0134) 61-2295
 E-mail : primarycell@cosmobio.co.jp